

船舶事故調査報告書

令和2年11月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	定置網損傷
発生日時	令和2年1月4日 06時38分ごろ
発生場所	大阪府泉南市田尻漁港西方沖 大阪府岡田港沖防波堤北灯台から真方位002° 780m付近 (概位 北緯34° 24.0′ 東経135° 16.4′)
事故の概要	遊漁船GOOD SMILEは、西進中、定置網に進入し、定置網の種網が損傷した。
事故調査の経過	令和2年1月14日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	遊漁船 GOOD SMILE、7.3トン
船舶番号、船舶所有者等	250-10058大阪、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特定
負傷者	なし
損傷	本船 なし 定置網 種網等の破断
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 低潮時 日出時刻：07時06分ごろ
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣り客9人を乗せ、大阪湾の釣り場に向けて田尻漁港の係留場所を出航し、同漁港西方沖を西進中、わかめ養殖施設（以下「本件施設」という。）に進入して推進器に種網が絡み、種網が損傷した。 本船は、船長が、推進器に絡索した本件施設の種網等をナイフで切断して脱し、推進器が回らないのでバウスラストのみを使用して田尻漁港に戻ろうとしたが、推進力が得られずに漂流を始め、付近の陸岸に乗り揚げた後、船長が救助を要請し、来援した漁船により引き出され、えい航されて係留場所に戻った。
分析	本船は、日出前の薄明時、西進中、船長が、本件施設に進入したことから、推進器に種網が絡み、同網が損傷したものと考えられる。
原因	本事故は、日出前の薄明時、西進中、船長が、本件施設に進入したため、推進器に種網が絡み、同網が損傷したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・養殖施設付近を通航する場合、油断せずに前路の見張りを適切に行うこと。 ・養殖施設に進入して絡網した場合、むやみにロープや網を切断し

	ないで、海上保安庁や漁協に通報すること。
--	----------------------